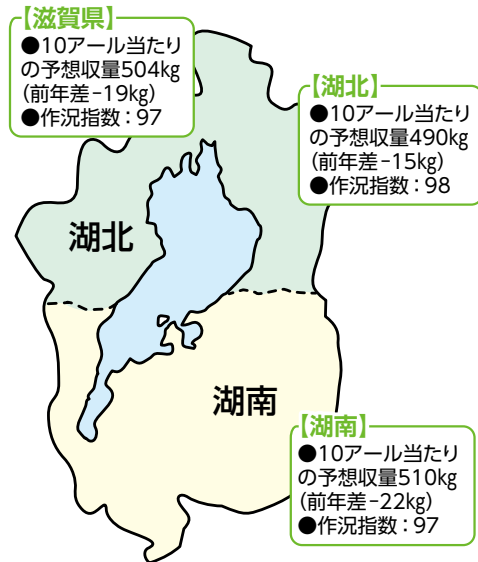


滋賀県の作況指数

令和5年産水稲の予想収量と作況指数(9月25日現在)が公表されました。滋賀県の予想収量は10aあたり504kg(前年産に比べ19kg減少)で、作況指数は97となり「やや不良」となる見込みです。

滋賀県の作況指数

(9月25日現在)



近年の湖北地域の作況指数

平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
97	100	104	100	99	98	98	100	101	98

作柄概況

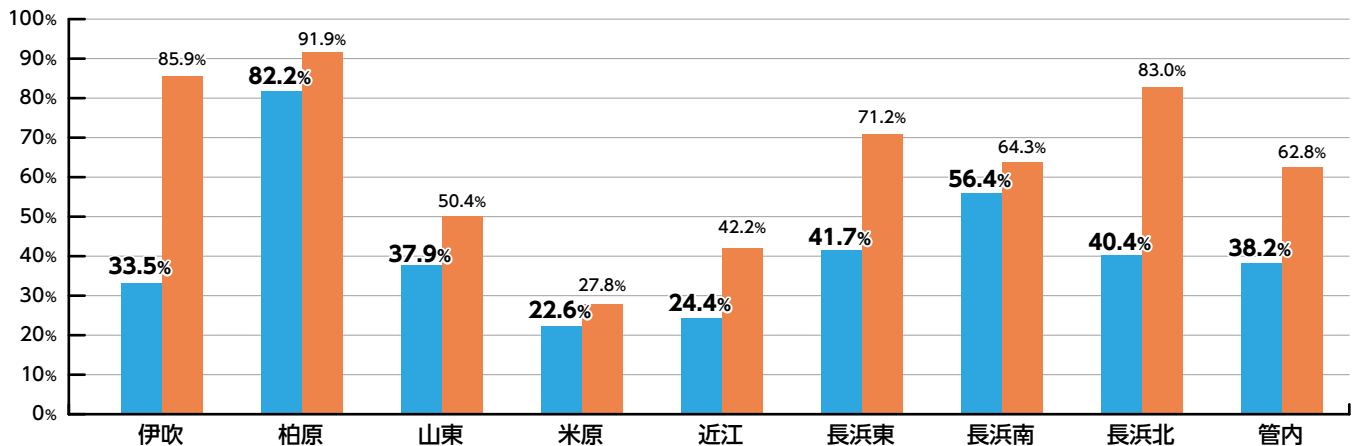
- 穂数は、5月下旬～6月上旬の日照不足等の影響により分けつが抑制されたことから「やや少ない」となり、1穂当たりのもみ数、および全もみ数については幼穂形成期が天候に恵まれたことから「やや多い」となった。
- 登熟は、出穂・開花期である7月下旬～8月中旬が記録的な高温となった影響により、不稔もみが平年より多く発生したことから「やや不良」が見込まれる。

全国の作況指数は100で「平年並み」

北海道と東日本がおおむね高温、多照で推移し天候に恵まれた一方で、西日本は6月～7月の大雨や日照不足、7月～8月にかけての記録的な高温と少雨の影響を受けた。

地域別コシヒカリ1等比率 米検査状況(地場集荷分 9月29日現在)

■令和5年 ■令和4年



2等以下の格付と主な要因(上位)

格付種類	種類解説	要因
乳白・心白粒	胚乳部に白色不透明な部分がある。部分的なデンプン供給不足で発生する。	●登熟初期の高温・日照不足 ●籾数過多 ●登熟初期の稲体の活力低下
その他未熟粒	充実の不十分な粒で、玄米の厚みが薄く、縦溝が深い。歪みや変形したもの。	●籾数過多 ●登熟期の稲体の活力低下
背白粒	米粒の背部に白色不透明な部分がある	●登熟中・後期の高温 ●登熟期の稲体の活力低下

